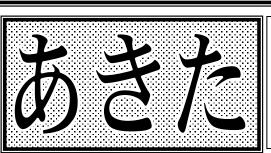
R東労組

んできた!



東日本旅客鉄道労働組合 秋田地方本部 〒010-0874 秋田市千秋久保田町 6-66

2022年3月7

48号

## [本気]

員の声だ! Part<sup>2</sup>

が増える! を遂行している。マイプロなど赤 乗務以外に考えること、やること 策に沿ったもので、今後ますます 毎日気をつかって疲弊している。 ●コロナ感染に怯えながら業務 ●来年度から始まる委員会も施

が増えるのは必須! 化に対応するためにこれまでの きた。職場の努力に報いるべき! 字解消に向けて一段と頑張って ●労働生産性を増やすなら賃金 意識から脱却してきた。 ●様々な施策に向かい、時代の変

ビス介助士の資格取得に取り組 分にできることはと考えてサー ●統括センター化が進められ、自 昇は明らか! なく働いてきた。労働密度の上 の負担が増大している! し業務を事故事象も起こすこと 化施策も進み一人にかかる労働 ●人員や設備の縮小。 ●この一年間コロナ対策と並行

ある!乗務の合間に委員会活動 などもあり目が回りそう… )めちゃくちゃ働いてる実感が

具体的な説明もなく将来の人生設

増え、労働密度は上がっている。 ベーターの電力節電のため階段 ても、多くの組合員が異動を伴い を使用してきた。 ながら担い奮闘している! に取り組んできた!施策におい ●ダイヤ改正ごとにワンマンが 1円 でも稼げ」と言われエレ ●PI委員会・マイプロにも果敢 りゆく環境下でも日々不安の中 組んできた!施策によって変わ クトになてきている… ではなく、 ●運転士の業務内容は濃くなり ●マイプロはマイプロジェクト ●黒字化に向けて Buy JR に取り **悪事故で取り組んできた!** 

負担増!その他にも企画業務も 勞働 私はキャパオーバー。

カンパニープロジェ 業務+αを誰もが担っている! きであり赤字とは関係ない! 社員は真面目に取り組んでいる! は上がっているし生産性の向上に 備維持管理している。 これまでの ●知恵を出してコストダウンや設 ●定昇は勤務成績に応じて出すべ ●ジョイタブの活用など仕事の質

性向上に対する社員の貢献への成 される。賃金が見合っていない! センター化で更なる働き度を要求 何なのか… の業務量が増える。自分の仕事が 果配分と言うが、働き度が少ない ●今後の施策によって一人当たり ●入換が増え、拘束時間が増。 )環境変化に対応するための生産

各種効率 ざけるな!。 何もしたくないと思うことが多く からもっと働けと言うことか!ふ なった… 61 はない。感染の不安がある中で働 ●仕事が楽になったと感じたこと ●新たな施策が打ち出される中、 ているので余計疲れる。 休みに

働き度が上がって賃金上がらないでは納得できない